

News Letter

vol.31

2019. 11月号

毎月発行

令和元年

今月のよっしー

延岡、串間、都城、日向、門川、都農、小林、日南。ここ一ヶ月で行脚しました。実習受入れ機関の皆様には厚く御礼申し上げます。先日、医師の仕事について小学生に話す機会をいただきました。「年収はいくらですか?」「医師を目指すきっかけは?」「地域枠の先生が県外に行っているのはなぜ?」と直球の質問もいただきました。将来を担う子供達の真剣でキラキラした眼差しにやられました。学びの場を大学の中だけでなく地域にも皆さんと一緒に作り上げていきましょう。



教授 吉村 学

連載企画

臨床実習病院・診療所紹介 「宮崎生協病院」

宮崎生協病院 院長 遠藤 豊 先生

宮崎生協病院は医療生協の病院であり、地域の方々との協同の営みで運営しております。今回の地域包括ケア実習では、生協病院を始め宮崎市内の3つのクリニック、訪問看護ステーションやグループホームなど宮崎医療生協内の様々な施設を活用したプログラムを提供させて頂きました。4週間のうち、第1、4週は生協病院



において地域包括ケア病棟での回診、多職種参加型の合同カンファ、他職種体験など、病院機能全体を体感して頂く内容。第2、3週はクリニックの特徴でもある往診など在宅部門、他施設との連携を多く経験させて頂きました。今回の実習の受け入れを通して、改めて私たち自身の地域での役割や魅力について振り返り、考える良い機会を頂いたと感じております。今後も宮崎の医学教育の一助となるよう地域医療に奮闘してまいります。



総合診療 Tips

—総合診療にまつわる豆知識—

第13回 「ケアへのアクセス（近接性） Access to Care (Accessibility)」

前回紹介したプライマリ・ケアの5つの理念の1つ、ケアへのアクセス（近接性）です。「かかりやすさ」を表す重要なもので、「地理的」「経済的」「時間的」「精神的」の4つの面があげられ、かかりつけ医として求められる要素かと思えます。

逆に、ケアへのアクセスを障害するものもいろいろあります。当講座では、右表の8つを学生に説明しています。

＜保健医療福祉サービス利用のアクセス障害の分類＞

①経済的な障害	金銭的なことで受診や利用ができない。
②地理的な障害	地理的な距離、天候の悪さなどからたどり着けない
③文化・社会的障害	仕事や宗教、迷信、世間体を気にするなど利用できない
④教育の障害	十分な教育を受けず、理解や読み書きの支障がある
⑤性差による障害	婦人科疾患を男性医師に相談できない、その逆など
⑥家族の障害	家族の無理解、非協力的なことで利用できない
⑦合併疾患の障害	他の病気（精神疾患、膝が悪いなど）からたどり着けない
⑧保健システムの障害	医療保険や介護保険に入っていないなど

「地域医療学」(1年生)の講義を行いました。

1年生全員を対象とした「地域医療学」の講義は、10月2日(水)に当講座の三浦拓先生、10月23日(水)に南日本ヘルスリサーチラボ代表の森田洋之先生、11月6日(水)に美郷町国民健康保険西郷病院総院長の金丸吉昌先生から行っていただきました。三浦先生は「政策と地域医療～私の経験から～」、森田先生は「治す医療とささえる医療」、金丸先生は「観る」をテーマに講義をしていただきました。どの講義も先生方からの熱い思いを学生にしっかりと伝えていただきました。先生方、お忙しい中のご講義、ありがとうございました。



第30回宮崎県国保地域医療学会に参加しました。

10月19(土)～20日(日)にシーガイア・コンベンションセンターにて宮崎県国保地域医療学会が行われました。今回は今年7月に当講座での研究室配属実習を行った医学科3年生5名に研究発表をしてもらいました。「患者の健康意識と医師との関係性についての調査及びそれに対する医師側の認識」と題し、宮崎市立田野病院での実習をきっかけとした疑問についてアンケート調査を行い、それに加えて医師側にもインタビュー調査を行った研究内容です。調査の結果、患者の健康意識は高く医師との関係性も悪くないものの、病気や健康に関する理解に不十分なところがみられました。それに対して医師と患者それぞれの立場からできることについて、学生ならではの視点も交えて考察・提案がなされていました。

前日の特別講演「患者の理解を求めて進める地域包括ケア」(ささえあい医療人権センターCOML 理事長 山口育子様)にも重なる内容であり、患者と医療者の”協働”を進めるうえでとても参考になる発表だったと思います。初めてとは思えない落ち着いた発表で、聴衆からの反応も良かったです。

また、昨年研究発表された医学科6年の泉 摩依さんが優秀賞を受賞されました。おめでとうございます！泉さんの受賞に続くよう、今後も学生や研修医の学会発表など、講座としてサポートしていきたいと思います。



▲3年生による研究発表



▲受賞された泉さん(右)

クリニカルクラークシップⅡ & 地域包括ケア実習・オリエンテーション

10月25日(金)、医学科5年から6年にかけて実施される診療参加型臨床実習(クリニカル・クラークシップⅡ)のオリエンテーションが開催されました。当講座からは地域包括ケア実習についての内容(ICTの活用、報告会の実施や評価方法等)や注意事項のほか、地域医療の実情を知るために大事なことを桐ヶ谷先生が説明しました。

今年で2回目となる地域包括ケア実習が10月28日からスタートしました。県内の各医療機関、関係者の皆様、また医学生がお世話になります。ご指導の程、どうぞよろしくお願いいたします。



講座のイベント情報

- 多職種連携教育コーディネーター養成講座 Day3～4
11/23(土)～24(日) 場所: コテージ・ヒムカ
 - 【県地域医療支援機構主催】
医師誘致イベント「病院説明会&懇談会」
11/30(土) 17:00～ 場所: ホテルスカイタワー
 - 【宮崎大学プライマリケアサークルMPCC主催】
第8回九州総合内科セミナー冬の陣@MIYAZAKI
11/30(土) 9:00～ 場所: 宮崎大学医学部
 - 宮崎県プライマリ研究会(早川先生メイン講師)
12/7(土) 14:30～ 場所: 宮崎県医師会館
- ※詳細はホームページやFacebookに順次アップします。

宮崎大学 医学部 地域医療・総合診療医学講座

〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原5200 TEL:0985-85-9809 FAX:0985-85-9805

E-Mail: chiikiiryo@med.miyazaki-u.ac.jp URL: <http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/community-medicine/>

